

# 平成30年度 児童発達支援 アンケート集計結果・改善内容

回収率 40%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	改善内容
環境・設備等	①	お子様の活動等のスペースが十分に確保されているか	41	8	2	2	自由遊びの際に、共有スペースの玩具をクラスに持ち込んで遊ぶなど空間の有効活用に努めています。活動内容に合わせて、遊戯室を活用する等広いスペースでの活動の機会を設けています。
	②	職員の配置数や専門的なことに対する対応は適切か	49	1		3	
	③	事業所の設備等はお子様にわかりやすい、構造化された環境(※構造化された環境:ここで何をするのか示せるように、机や棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです)になっているか。また、情報伝達等の掲示が適切になされているか	53				
	④	事業所の設備等は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。またお子様の活動に合わせた空間になっているか	50	3			
適切な支援の提供	⑤	お子様と保護者のニーズが反映され、お子様の状態が十分に把握分析された児童発達支援計画が作成されているか	51	1		1	
	⑥	児童発達支援計画には、※1児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容からお子様の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	44	3		6	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	50	2		1	
	⑧	グループの課題や活動プログラム(※活動プログラム:日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。)が固定化されないように工夫されている	50	1		2	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流する機会があるか	18	11	9	15	保護者ニーズを踏まえ、保育所・認定子ども園・幼稚園担当者の見学を受け入れています。保護者ニーズに基づき、保育所・認定子ども園・幼稚園への訪問を行っています。

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	改善内容
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされている	49	4			
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」ねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	48	3	1	1	支援計画及び支援内容を説明する際には、作成した児童発達支援計画書を示すことを徹底しています。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム※2(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	27	10	4	12	平成 30 年度は就学前児の保護者向けに希望を募り、希望者全員にペアレントトレーニング研修を実施しました。 平成 31 年度は対象の年齢を拡げ実施を予定しています。
	⑬ 日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解が出来ている	45	7	1		課題の意図や、今後の展開などについて共通理解が図られるよう丁寧な説明を行っています。 今後は家庭での取り組みの方法を含め、より具体的な提案等を行ってまいります。
	⑭ 子どもさんに関する相談や、助言等を定期的に行ったり、個別的支援が行われている	45	8			
	⑮ 父母会の活動支援や保護者会、活動への保護者参加等により保護者同士の連携が支援されているか	11	15	9	17	年度開始時に保護者会を実施し、保護者間の交流を図っています。 年度途中からの入園保護者が、保護者間の交流を図れるよう、より丁寧な支援を行います。
	⑯ 保護者等の気になる所や相談申し入れについて対応の体制が整備、周知、説明され、迅速かつ適切に対応されているか	44	7		2	
	⑰ お子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	44	6		3	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報が業務に関する自己評価の結果が発信されている	27	10		16	
	⑲ 個人情報の取扱いに十分に注意されている	49	2		2	
	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明され、発生を想定した訓練が実施されているか	43	8		2	
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難その他必要な訓練が行われている	53				
満足度	㉒ お子様は通所を楽しみにしているか	46	6		1	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	51	2			